

## 福島県郡山市および須賀川市でのソーラーシェアリング事業に対する融資実行について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、株式会社E Pサポート（代表取締役 枝光俊介）が福島県郡山市および須賀川市で実施する太陽光発電と農業を同時に行う営農型発電事業（ソーラーシェアリング）に対して融資を実行いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

太陽光を農業生産と発電とで共有するソーラーシェアリング事業は、地域課題の解決（耕作放棄地問題の解消）にも繋がる次世代の農地活用の形として注目されています。

当行は、今後も総合金融サービスの提供を通じて、再生可能エネルギーの普及・促進と地域経済の活性化を支援し、SDGsの達成に貢献してまいります。

### 記

#### 1. 案件概要

本事業は、福島県郡山市および須賀川市内に点在する耕作放棄地9カ所で行うソーラーシェアリング事業です。株式会社E Pサポート（発電事業）と株式会社川上種苗園（営農事業）が主体となり、再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）を活用した太陽光発電による全量売電と、かぼちゃの生産・販売および営農に携わる雇用の創出を見込んでいます。

##### <事業概要>

発電事業主体	株式会社EPサポート 代表取締役 枝光 俊介（福岡県福岡市博多区）
生産事業主体	株式会社川上種苗園 代表取締役 川上 敦史（福島県相馬郡新地町）
所在地	福島県郡山市、須賀川市（計9カ所）
土地面積	22,698.00㎡（9カ所合計）
発電設備規模	445.5KW
年間想定発電量	932MWh／年 【一般家庭約200世帯分相当】
生産物	かぼちゃ
運転開始時期	2022年6月頃から順次

##### <融資契約>

貸付人	株式会社七十七銀行
融資金額	非開示

## 2. 現地の写真



### (関連するSDGs)



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



8 働きがいも  
経済成長も



11 住み続けられる  
まちづくりを

### SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～ もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月に「SDGs実践計画」を策定しました。

以 上